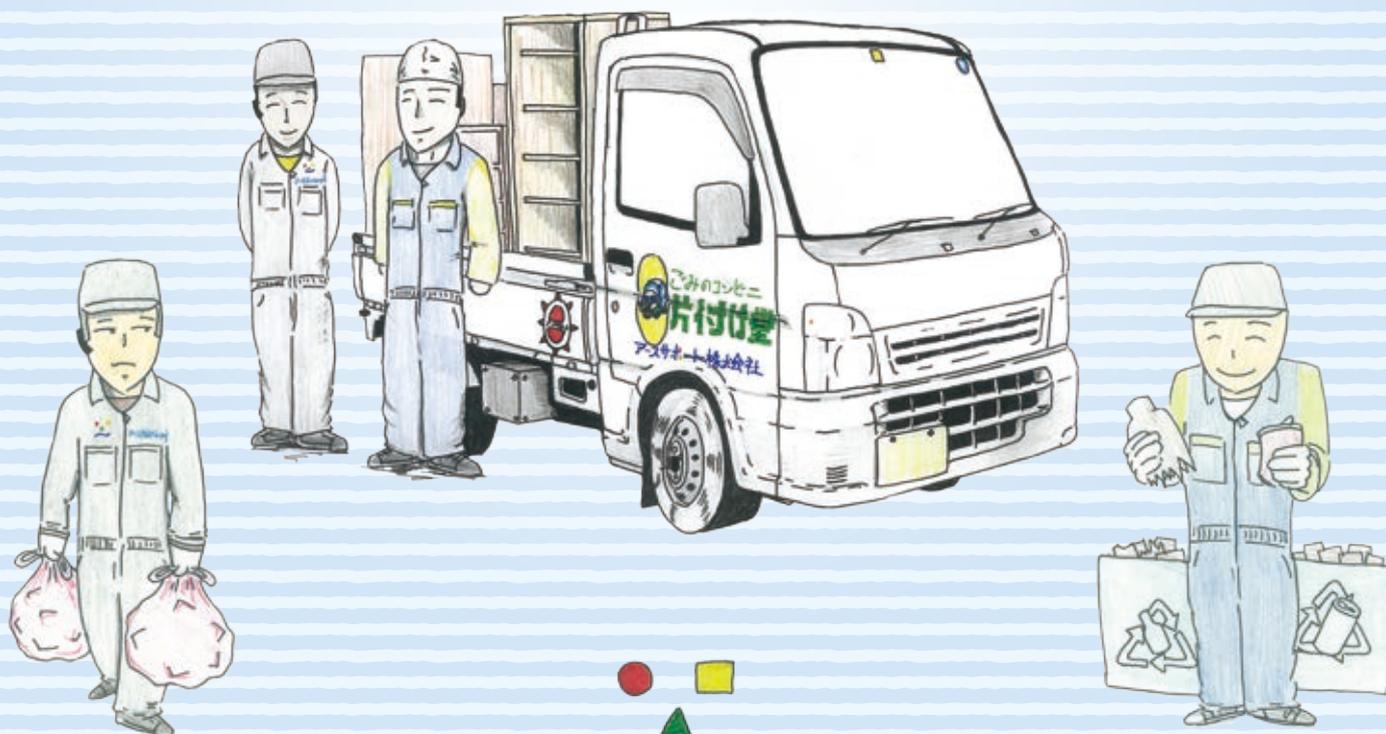


CSR報告書 2015

アースサポート 株式会社





あすのひかり

NPO法人あすのひかりは、「障害者総合支援法」に基づき、障がい者の方々の就労支援を行っています。就労に必要な知識や能力の向上のための訓練を行い、社会とのつながりを大切に、障がい者の方々の経済的にも自立した社会生活を確立していくことを目指しています。

松江事業所では、就労継続支援A型とB型の多機能型事業所として、民間企業から様々な作業を受注し、利用者の皆様に従事していただいております。現在30名の利用者の方が所属し、民間企業へ就職が決まった方もいらっしゃいます。



農作業



廃棄物選別作業



タイヤ破砕機運転



医療BOX梱包作業



マニフェストデータ入力作業



パソコン分解作業

■表紙イラストの紹介

本報告の表裏紙及び本紙内のイラストは、あすのひかりの利用者さんが描いたものです。裏表紙は当社車両のパキューム車で、スサノオマジックのイラストも直筆です。

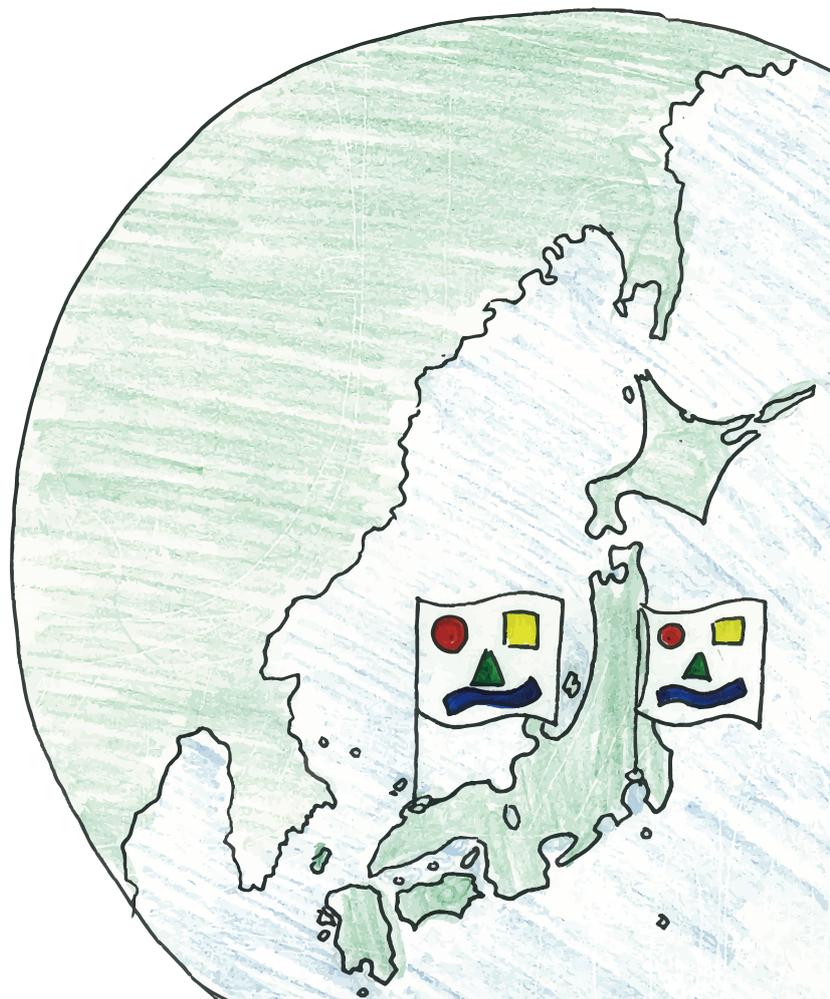
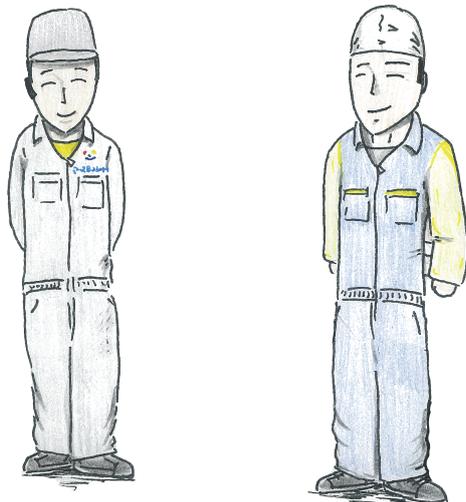
あすのひかり
小原知明さん



CSR報告書 2015

CONTENTS

「NPO法人 あすのひかり」紹介	01
アースサポートのあゆみ	03
会社概要	05
組織体制	05
トップメッセージ	06
■ ハイライト	07
■ 環境とのかかわり	10
■ 地域とのかかわり	15
■ 社会とのかかわり	20
■ お客様とのかかわり	22
■ 社員とのつながり	25
■ アースファームだより	31
アンケート	32
編集後記	34



アースサポートのあゆみ



1963 2月



1999.9 焼却炉

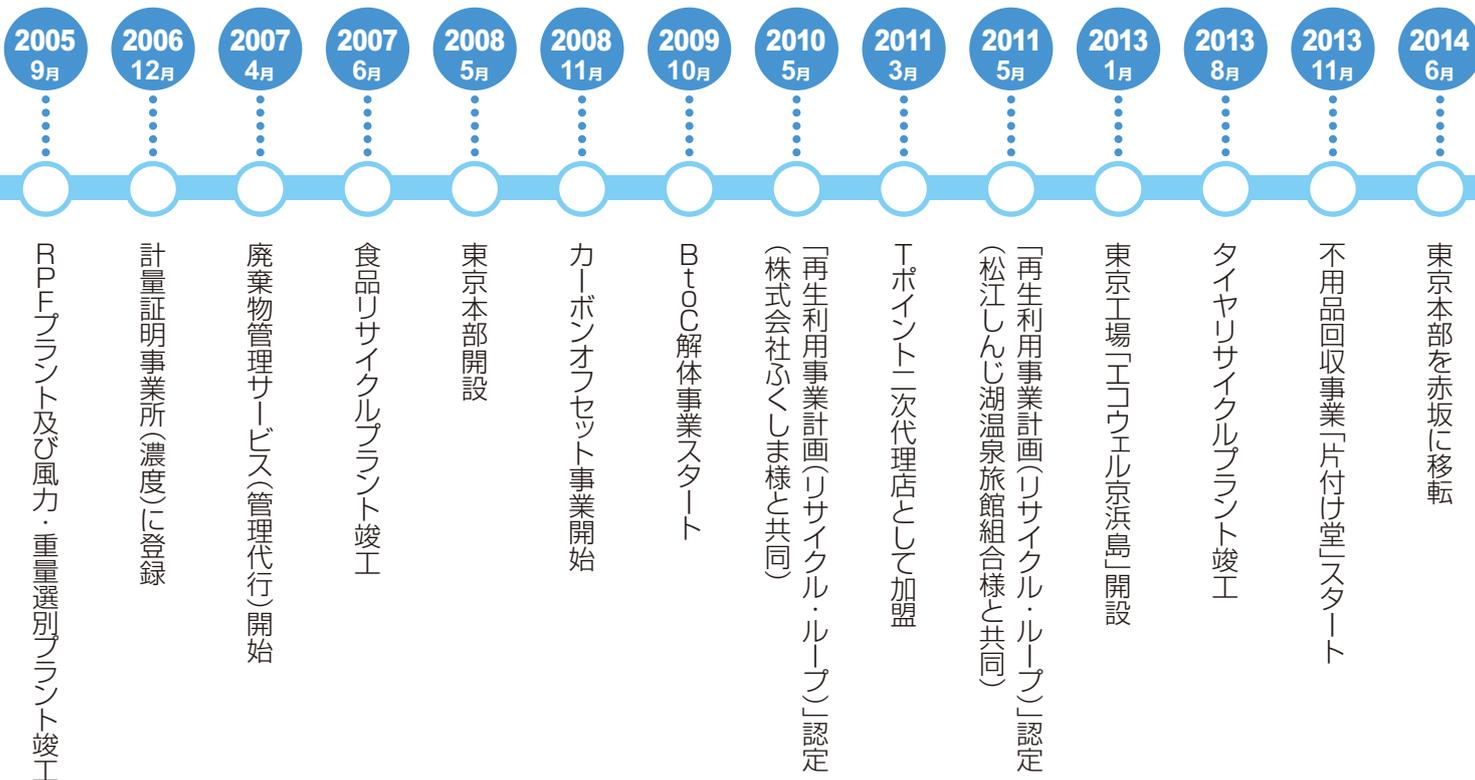


2000.7 選別プラント



2002.10 廃食油リサイクル事業

アースサポート株式会社は、ビル管理・清掃を事業としていた山陰ビル管理株式会社と廃棄物処理を事業としていたアース環境株式会社が合併し、生活空間そのものの環境保全、という新たなカテゴリーへと進出しました。わたしたちは、すべてのお客様に安心と快適な環境を提供するために、環境に関するあらゆる問題を解決する「トータルソリューション」を提案するリーディングカンパニーとして挑戦し続けます。



2005.9 RPFプラント



2007.6 食品リサイクルプラント



2005.9 風力選別プラント



2013.1 エコウェル京浜島

会社案内 Company profile

名称 アースサポート株式会社

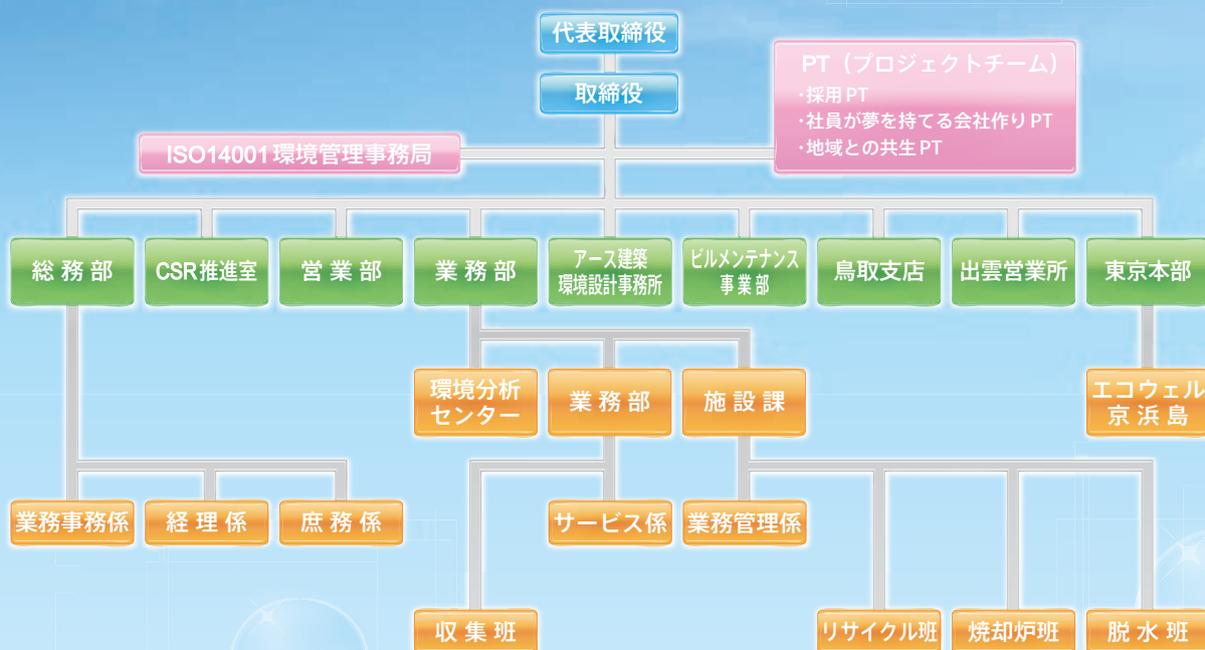
設立 昭和38年2月4日

所在地 島根県松江市八幡町882番地2

資本金 5,000万円

代表者 代表取締役 尾崎俊也

組織体制 Organization system



トップメッセージ

「地域との共生を目指し、地域に喜ばれ必要とされる会社作り」という経営理念を実現するため、日々の活動を真摯に取り組む。

平素は弊社業務につきまして格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、弊社の環境とのかかわり・地域とのかかわり・社会とのかかわり等、弊社が日々の経営で大切にしております様々な取り組みをまとめた『CSR報告書2015』を発行させていただくにあたり、関係各位に多大なるご協力を賜りましたことを心より御礼申し上げます。

■アースサポートを取り巻く環境変化

2014年4月～2015年3月の間で起きた弊社を取り巻く環境変化としては、鳥根県内における管理型最終処分場の逼迫が挙げられます。今まで当たり前のようにあった最終処分場の受け入れ量が減少したこともあり、弊社としても埋め立て量をいかに減量し、リサイクルに回すかを考えて活動しました。その結果として、今まで埋め立てせざるを得なかった燃え殻をリサイクルするルートを確立する等、一定の成果を収めることができました。

また、地域のお年寄りの方々のニーズに対応するために個人様の不用品を回収させていただく「ごみのコンビニ 片付け堂」というサービスを2103年11月から開始しましたが、少子高齢化という時代のニーズもあり、この1年で大幅に受注が伸びています。今後弊社に求められるのは個々のお客様の様々なニーズに寄り添ったサービスを提供することだと考えており、その体験をきっかけとして弊社全体のサービス品質を改善する機会にしたいと思っております。

■良き企業市民として

弊社は「地域との共生を目指し、地域に喜ばれ必要とされる会社作り」を行うという経営理念のもと、“良き企業市民”になるための活動をコツコツと続けています。そんな中、2014年5月に鳥根県を代表するプロバスケットボールチームである鳥根スサノオマジック（株式会社山陰スポーツネットワーク）の

社長に就任することになりました。鳥根スサノオマジックは、バスケットボールを通じて地域に誇りを、子供たちに夢を提供することを理念に掲げて活動しており、弊社としても少しでも力になることができると考えています。



■持続可能な社会の構築を目指す

“持続可能な社会の構築”というと大変大きなテーマになりますが、一企業として貢献できることは少なくないと考えています。それは、安定的に雇用の場を提供し、研修や日々の指導を通じて社員の育成を行うことです。弊社では、社員ひとり一人を弊社の最も大切な財産＝人材だととらえ、共に成長し、共に幸せになることを目指して日々活動を続けています。また、グループ会社である就労継続支援事業所NPO法人あすのひかりと協力して障がいのある方々へ働く場を提供し、現在約30名を雇用しています。

このような思いを一冊にまとめたものが『CSR報告書2015』です。私たちは、私たちの仕事そのものが環境に大きな影響を与え得ることを自覚し、そして私たちの積極的な活動が社会に対し少しでもプラスの影響を与え得るということも十分に理解し、お客さま、社員、そして地域の方々に喜んでいただける会社作りをしていかなければならないと考えています。その思いを、お客さまや社員、地域の皆さまと交わした『約束』と考え、これからも誠心誠意努めて参ります。

今後とも皆さまのご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長 尾崎 俊也

ハイライト

Highlight



『島根スサノオマジック』を応援

平成26年5月、TKbjリーグ所属のプロバスケットボールチーム「島根スサノオマジック」を運営する『株式会社山陰スポーツネットワーク』の代表取締役社長に、当社社長の尾崎俊也が就任いたしました。また、スポンサー企業としてもさまざまなサポートをさせていただいています。



● 片付け堂とのコラボ

スポンサー企業として、島根スサノオマジックの試合の際、当社の不用品回収事業「ごみのコンビニ片付け堂」をPRさせていただいています。あわせて、Tポイント付与サービスも行っています。



また、不用品回収のお見積もり依頼を下された方へ、島根スサノオマジックとのコラボクリアファイルをプレゼントさせていただいています。非売品で、ファンの皆様にご好評頂いています。



● 冠スポンサー

平成26年11月15日（土）、16日（日）に島根県立浜山体育館（カミアリーナ）にて行われた、島根スサノオマジックHOME戦【島根スサノオマジック vs 岩手ビッグブルズ】において、当社が試合の冠スポンサーとなり「ごみのコンビニ片付け堂」をPRさせていただきました。お越しいただいたお客様の中で、Tカードをご提示いただいた先着60名様に「片付け堂×スサノオマジック 特製メガホン」をプレゼントさせていただき、多くのお客様に喜んでいただきました。ハーフタイムにはパネルを使って片付け堂の宣伝を行いました。



● 竹矢小学校でのミニバスクリニック

平成26年9月14日に地元竹矢町にある竹矢小学校のミニバスチームに対し、島根スサノオマジックの選手を招待して「バスケットボールクリニック」を開催しました。当社にとって竹矢町は地元であり、竹矢小学校は特にミニバスの強豪校として知られて

いるチームです。男女合わせて約40名の参加があり、多くのご家族の皆様にもご見学いただきました。参加者へはサプライズでタオルをプレゼントさせていただきました。



● 竹矢幼稚園でのクリスマス会

平成26年12月19日に竹矢幼稚園で開催されたクリスマス会に、島根スサノオマジックの選手を招待しました。ボールを使った技を披露していただいたり、園児と一緒に遊び記念撮影を行いました。後日、園児が楽しい時間を過ごす事ができたというお礼状を頂きました。



第18回環境コミュニケーション大賞 優良賞を受賞

環境省と一般財団法人地球・人間環境フォーラムが主催する「環境コミュニケーション大賞」は、優れた環境報告書等や環境活動レポート、及びテレビ環境CMを表彰することにより、事業者等の環境経営及び環境コミュニケーションへの取組を促進するとともに、環境情報開示の質の向上を図ることを目的とする表彰制度です。

このたび、第18回環境コミュニケーション大賞に当社の「CSR報告書2014」を応募したところ、優良賞を受賞いたしました。第14回環境コミュニケーション大賞でも奨励賞を受賞しており、今後も表彰いただけるような優れた報告書の作成に努め、皆様に安心いただけるような情報公開をまいります。



講評

環境情報としての網羅性は無いが、事業特性に特化した環境報告として分かりやすく読みやすい。ただし、CO2の情報はこれからの時代としては必須なので、算定・記載を期待したい。またCSR報告書としてお客さまとの関わり、従業員との関わり、地域との関わりについても報告されており、CSRに真摯に取り組む企業姿勢がよく分かる報告書である。

新規許可の取得

■千葉県産業廃棄物収集運搬業許可取得

千葉県の産業廃棄物収集運搬業許可を取得しました。取扱い品目は次のとおりです。

汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類

■東京都産業廃棄物処分業許可更新

発泡スチロールの溶融機を導入し、東京都産業廃棄物処分業許可を取得しました。あわせて廃プラスチック類の圧縮梱包施設及び金属くずの圧縮施設を24時間稼働へ変更し、より多くの廃棄物を受入することが可能となりました。



■松江本社の発泡溶融施設の更新

松江本社の発泡溶融施設を更新し、処理能力が20m³/日から400kg/日に変更となりました。処理工程が簡素化され、省エネタイプの施設となっています。





環境データ

● 焼却炉排ガスデータ

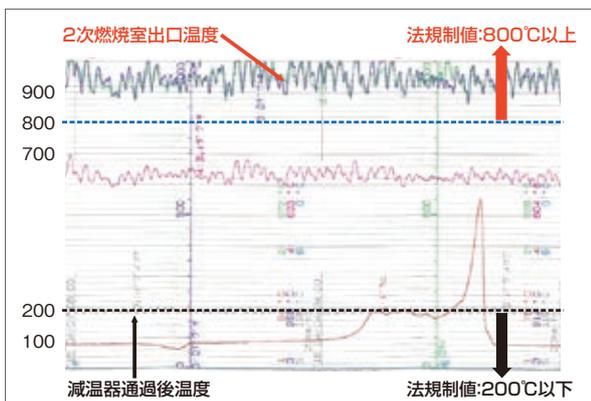
測定項目	測定値		法規制値		単位
	H26.11.12	H27.4.16			
ダイオキシン類	0.0063	0.0063	1		ng-TEQ/N m ³
塩化水素	23	120	700		mg/N m ³
ばいじん	0.0088	0.0096	0.08		g/N m ³
硫黄酸化物	0.28	0.73	25.42	25.63	N m ³ / h
窒素酸化物	82	67	250		cm ³ / N m ³

● 焼却炉燃え殻データ

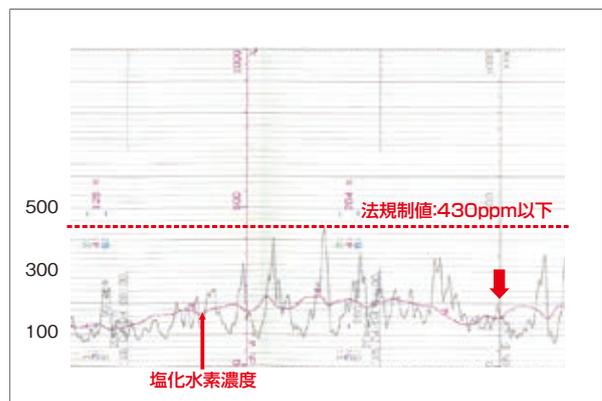
測定項目	測定値	法規制値	単位
	H26.5.13		
ダイオキシン類	0.37	3	ng-TEQ/g

測定項目	測定値	法規制値	単位
	H26.5.13		
水銀又はその化合物	N.D.	≤0.005	mg/リットル
カドミウム又はその化合物	N.D.	≤0.3	mg/リットル
鉛又はその化合物	N.D.	≤0.3	mg/リットル
六価クロム化合物	N.D.	≤1.5	mg/リットル
砒素及びその化合物	N.D.	≤0.3	mg/リットル
セレン及びその化合物	N.D.	≤0.3	mg/リットル
P C B	N.D.	≤0.003	mg/リットル

● 焼却炉温度チャート



● 焼却炉塩化水素濃度チャート

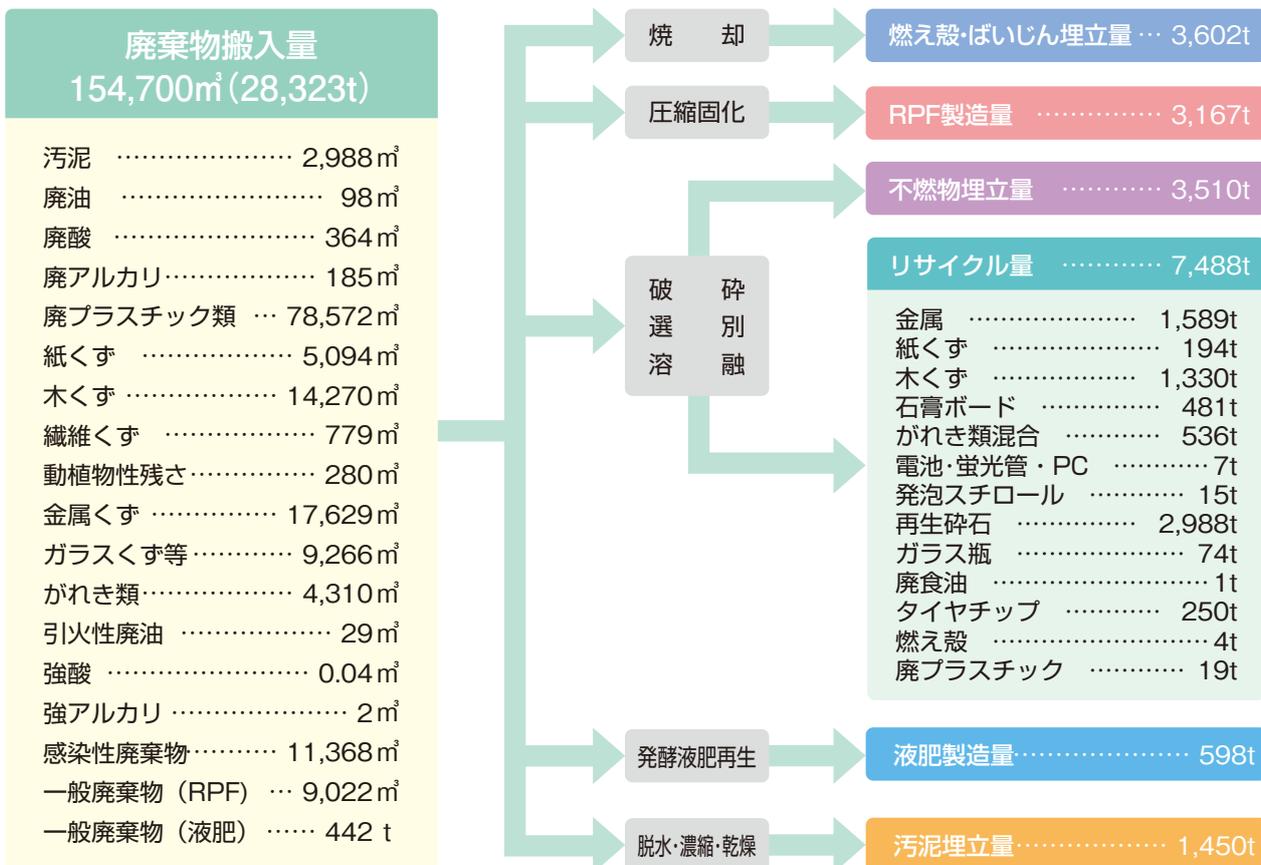


● 排水データ

測定項目	測定値		法規制値	単位
	H26.12.17	H27.4.22		
ダイオキシン類	0.021	0.024	10	pg-TEQ/ ^{リットル}

測定項目	測定値	法規制値	単位
	H27.4.22		
カドミウム化合物	N.D.	≦0.1	mg/ ^{リットル}
シアン化合物	N.D.	≦1	mg/ ^{リットル}
有機燐化合物	N.D.	≦1	mg/ ^{リットル}
鉛又はその化合物	N.D.	≦0.1	mg/ ^{リットル}
六価クロム化合物	N.D.	≦0.5	mg/ ^{リットル}
砒素及びその化合物	N.D.	≦0.1	mg/ ^{リットル}
水銀又はその化合物	N.D.	≦0.005	mg/ ^{リットル}
アルキル水銀化合物	検出せず	検出されないこと	mg/ ^{リットル}
P C B	N.D.	≦0.03	mg/ ^{リットル}
トリクロロエチレン	N.D.	≦0.3	mg/ ^{リットル}
テトラクロロエチレン	N.D.	≦0.1	mg/ ^{リットル}
ジクロロメタン	N.D.	≦0.2	mg/ ^{リットル}
四塩化炭素	N.D.	≦0.02	mg/ ^{リットル}
1, 2-ジクロロエタン	N.D.	≦0.04	mg/ ^{リットル}
1, 1-ジクロロエチレン	N.D.	≦0.2	mg/ ^{リットル}
シス-1, 2-ジクロロエチレン	N.D.	≦0.4	mg/ ^{リットル}
1, 1, 1-トリクロロエタン	N.D.	≦3	mg/ ^{リットル}
1, 1, 2-トリクロロエタン	N.D.	≦0.06	mg/ ^{リットル}
1, 3-ジクロロプロペン	N.D.	≦0.02	mg/ ^{リットル}
チウラム	N.D.	≦0.06	mg/ ^{リットル}
シマジン	N.D.	≦0.03	mg/ ^{リットル}
チオベンカルブ	N.D.	≦0.2	mg/ ^{リットル}
ベンゼン	N.D.	≦0.1	mg/ ^{リットル}
セレン及びその化合物	N.D.	≦0.1	mg/ ^{リットル}
硝酸性窒素・亜硝酸性窒素及びアンモニア性窒素含有量	0.3	≦100	mg/ ^{リットル}
ふっ素及びその化合物	N.D.	≦8	mg/ ^{リットル}
ほう素化合物	N.D.	≦15	mg/ ^{リットル}
1, 4-ジオキサン	N.D.	≦0.5	mg/ ^{リットル}

廃棄物処理実績



H26.4.1～H27.3.31 までの実績

ISO14001への取り組み

【基本理念】

アースサポート株式会社は、廃棄物の適正処理・リサイクル・清掃活動を通じて地球環境保全に貢献するとともに、都市空間のトータルサポートを目指し、お客様に安心で快適な環境を提供する。

【環境方針】

- 1 環境目的・目標を明確にし、その見直しを定期的に行うことにより、継続的な環境管理活動を行います。
- 2 地球環境保全のため、廃棄物の適正な収集・運搬・処理を行うとともに新技術・新設備を導入し、省資源、省エネルギー、廃棄物の再資源化及び減容化に努めます。
- 3 環境関連法規制及びその他の要求事項を遵守するとともに、汚染の予防に努め、かつ、環境保全の継続的改善に努めます。
- 4 環境教育・社内広報活動などを通じて、全従業員の環境保全に対する意識の向上を図ります。
- 5 地域との共生を目指し、地域に喜ばれ、必要とされる会社づくりを行います。
- 6 環境方針は要求があれば、一般にも開示します。

平成17年11月1日

代表取締役社長 尾崎 俊也

● 環境目標と達成状況

目的	平成25年度（平成25年10月～平成26年9月）		達成率
A重油使用量削減	目標	焼却炉A重油使用量27㏩/h以下	◎
	結果	23.30㏩/h	
リサイクル率向上	目標	リサイクル率51%（汚泥を除く）	◎
	結果	51.1%	
定期収集時間短縮	目標	定期収集時間1件あたり6分43秒以下	◎
	結果	6分30秒以下	
環境教育の実施	目標	16回以上/年（対外）	◎
	結果	18回/年	
リサイクル向上	目標	廃タイヤ市場シェア率中海圏域6%以上	◎
	結果	49,399本	

×：達成率が80%未満 △：達成率が80%以上100%未満 ○：達成率は100% ◎：達成率が100%を超えたもの

行政による焼却炉定期審査

平成22年5月に改正された廃棄物の処理及び清掃に関する法律により、設置時に告示及び縦覧等の手続が必要な焼却施設や最終処分場等の廃棄物処理施設について設置の許可を受けている者は、当該廃棄物処理施設が技術上の基準（構造基準）を満たしているかどうかについて都道府県知事の定期検査を受けなければならないことになりました。当社が所有する廃棄物焼却炉はこれに該当するため、法に基づき平成26年8月1日に島根県より定期検査を受けました。

施設の構造基準を1つずつ、約2時間かけてチェックしていき、問題なく継続使用可能という結果でした。



緊急事態への備え

ISO14001に準じて、年1回緊急事態への対応手順テストを行っています。当社で想定する環境負荷が大きい緊急事態を7件設定し、対応手順の整備や必要な備品設置等行っています。例えば、廃棄物運搬途中で廃棄物が飛散流出した場合などを想定し、車両には油吸着マットや中和剤などを常備し、毎週在庫チェックも行っています。



ふるい下精選機の導入

当社において、主に建設系廃棄物の選別を行っている施設では、回転式のふるい機を用いて廃棄物の選別を行っております。この度、そのふるい機によってふるい落とされた埋立廃棄物を、更に精選別することが可能な「ふるい下精選機」を導入いたしました。この施設を導入することにより、これまで最終処分場にて埋め立てを行っていた廃棄物の約3割をリサイクルすることが可能となりました。



更新審査結果

当社では、平成13年3月にISO14001を認証取得しました。平成26年2月には東京のエコウェル京浜島においても認証取得し、サイト拡大を行っています。

平成27年2月18日～20日に、外部審査機関による定期審査が行われ、審査機関であるJQA（一般財団法人日本品質保証機構）の審査員1名の方に審査いただきました。取得以降、今回も含めて、重大な不適合事項（改善指摘事項カテゴリA）や軽微な不適合事項（改善指摘事項カテゴリB）はな

く、引き続き認証継続とご判断をいただきました。

また、当社が導入している社内ITを活用し、外部情報対応記録の運用を行っている点をグッドポイントとして挙げていただき、今後のシステム改善に結びつく事項を、改善の機会として3件ご指摘いただきました。

今年の夏にはISO14001の規格改定が行われるため、今後もその対応及び業務と直結したマネジメントシステム運用に注力いたします。



実施月	審査の種類	改善指摘事項A	改善指摘事項B	改善の機会	ストロングポイント	グッドポイント
H23年2月	更新審査	なし	なし	3件	なし	2件
H24年2月	定期審査	なし	なし	3件	なし	2件
H25年1月	定期審査	なし	なし	2件	なし	3件
H26年2月	更新審査	なし	なし	4件	なし	なし
H27年2月	定期審査	なし	なし	3件	なし	1件



環境教育



平成12年頃より、地域の小学校へ出前授業を行っています。内容は、「ごみの分別方法とごみのゆくえ」と題し、家庭から出るごみのサンプルを持参して分別方法を説明します。その後、そのごみがどのように処理されるのか、リサイクルされるのかを説明します。併せて「ごみ収集車（パッカー車）のしくみ」と題し、学校にごみ収集車を持って行き、車両のしくみを説明する他、実際にごみの投入体験もしてもらいます。運転席にも乗ることができるので、子供たちに人気です。どの学校でも、子供たちは熱心に



話を聞き、メモを取ったり積極的に質問をしてくれます。毎回ご好評で、授業を依頼される学校が増えています。



- 「ごみの分別方法とごみのゆくえ」
- 「ごみ回収車（パッカー車）のしくみ」実施校

平成26年6月 5日(木)	川津小学校	4年生3クラス	104名
平成26年6月 12日(木)	出雲郷小学校	4年生2クラス	63名
平成26年9月 4日(木)	母衣小学校	4年生3クラス	75名
平成26年9月 9日(火)	玉湯小学校	4年生2クラス	51名
平成26年9月 10日(水)	揖屋小学校	4年生2クラス	61名
平成26年9月 11日(木)	雑賀小学校	4年生2クラス	42名
平成26年9月 17日(水)	意東小学校	4年生2クラス	38名
平成26年9月 17日(水)	竹矢小学校	4年生2クラス	52名
平成26年9月 18日(木)	朝酌小学校	4年生1クラス	11名
平成26年9月 24日(水)	持田小学校	4年生2クラス	37名



保育園での環境教育

弊社では、平成16年より地元小学校を対象に環境教育を行っており、現在では年間10校の小学校へ環境教育を行っておりますが、この度、小学校のみに留まらず保育園での環境教育を計画し、平成26年5月9日に松江市矢田町のしらゆり第3保育園年長クラス30名に環境教育を行いました。当日は、イラストを使って生ごみがリサイクルされる仕組みを説明した後、液体肥料作りを体験してもらい、パッカー車の実演も行いました。液体肥料作り体験では、実際にその日の給食で使われる野菜の皮などを用



い、細かくする作業や混ぜる作業を体験してもらいました。また、パッカー車の実演では、ごみの投入体験や運転席に乗車してもらい、大変喜んでいただきました。

当社としても初めての試みでしたが、楽しみながらリサイクルやごみについて学んでいただけたのではないかと思います。

今後も継続して幼稚園や保育園での環境教育を行っていただけるよう、他校へのアプローチや内容の改善を行ってまいります。



食育

平成26年7月15日、竹矢小学校の4年生2クラス51名の児童を当社に招き、食育を行いました。当社の食品リサイクルシステムを説明した後、リサイクル施設を見学し、アースファームの農場で収穫体験をしてもらいました。「もったいない」の精神で食べ物を無駄にしないという気持ちを持ってもらうことと、残ってしまった食品残さはただ単に捨ててしまうのではなく、リサイクルして肥料にすることがで



きるということ、そしてその肥料を使って美味しく地球環境にも優しい野菜を作ることができるという、まさに「リサイクルループ」を実体験していただいています。各クラスでいちばん大きなじゃがいもを掘った児童へは「金メダル」を贈呈することを説明すると、一生懸命に楽しそうに収穫しており、大変喜んでいただきました。



図書寄贈



平成16年から始めた竹矢小学校への「みどりの図書」の寄贈も今年で10回目となりました。平成27年3月13日に竹矢小学校へ訪問し、目録及び図書の寄贈を行いました。

校長先生からは、毎年継続して行っている図書寄贈に対してだけでなく、普段からの当社の地域に対する取組みに関して、感謝の言葉をいただきました。また、図書館へ移動し図書館の様子を見学させていただきました。当社が寄贈したみどりの図書が、少しずつではありますが増えていることを嬉しく思います。「毎年継続してこのように寄贈いただけることは本当にありがたく感謝の気持ちでいっぱいです。」というお言葉をいただき、毎年継続して行うことの大切さ、小学校を含めた地域への活動の大切さを改めて実感することが出来ました。長い期間ずっと続けられる地域貢献活動を今後も行っていきたいと考えています。

書名	出版社	冊数
職場体験完全ガイド	ポプラ社	16
自然スケッチ絵本館	玉川大学出版部	11
実践!体験!みんなでストップ温暖化	学研	5
子どものマナー図鑑	偕成社	5
教科書に出てくる 日本の画家	汐文社	3



おかげ天神市

「おかげ天神市」は毎月25日に松江市天神町商店街で開催されており、当社も年1回ではありますが毎年参加しています。今年は人出の多い6月に出席し、アースファームで栽培された野菜の販売や、当社の環境に関する取組みのパネル展示、片付け堂のチラシの配布を行いました。特にトマトとにんじくは

完売するほどの人気で、「また次も買いに来るよ」と言ってくださる方もおられました。当社のブースにお越しいただいたお客様や他の出展者の方々との交流の場となっただけでなく、当社やアースファームの取組みをアピールする良い機会となりました。



環境フェスティバル2014に出展

松江市環境フェスティバルは、多くの市民の方をはじめ、環境に関心の高い事業者、NPO、行政、自治体、教育機関、報道関係者などの参加により、環境関連の情報発信や交流など、楽しみながら学べる場を提供することにより市民の環境意識啓発の一環となることを目指して開催されています。

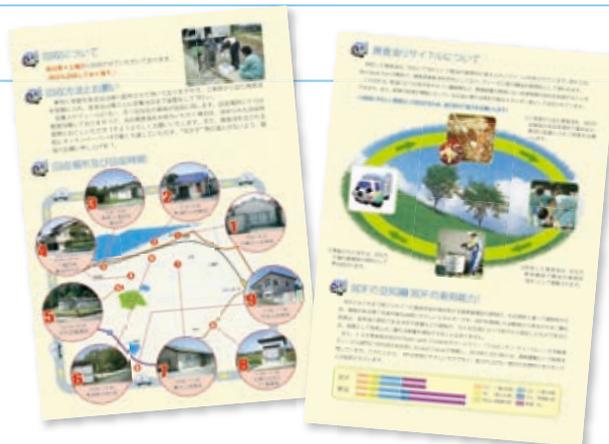
当社も毎年出展しており、平成26年11月16日にくにびきメッセで開催された「環境フェスティバル2014」においても、グループ会社農業生産法人アースファームで栽培された野菜販売や、生ごみリサイクルのパネル展示を行いました。リサイクルできる古紙や空缶をブースへ持参して頂いた方にTポイント50ptをプレゼントする企画を行ったところ、空缶と古紙を袋に詰めて持って来てくださる方もおられま



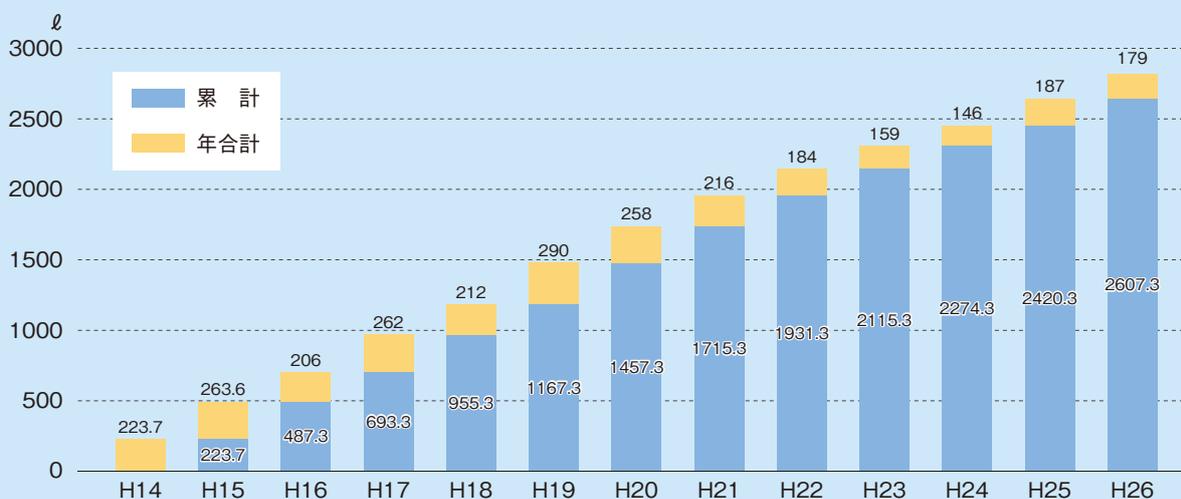
した。また、生ごみから作った液体肥料についても、家庭菜園をされている方に興味をもっていただき、完売に近い売れ行きでした。毎年液体肥料を目当てに環境フェスティバルに来るといってお客様から、来年もよろしくとありがたいお言葉をいただきました。

廃食用油リサイクル

平成14年より、地元自治会様の各家庭から排出される廃食用油を月1回収し、軽油代替油であるBDF（バイオディーゼル燃料）へリサイクルしています。リサイクルした燃料は、当社の重機や場内車の燃料として利用しています。地域の皆様のご協力により、いままで2,772リットルの廃食用油を回収させていただきました。



●廃食用油回収量



地域清掃活動

当社では平成12年より、毎月2回事務所周辺の美化活動を行っております。また、毎年4月は22日のアースデイに合わせて多くの事務職員、現場職員が参加し美化活動を行っています。アースデイとは1970年アメリカで“地球環境について考える日”と

して提案された記念日です。今年もこのアースデイには全社員に声をかけ、通常の約2倍の人数で美化活動を行いました。今後も継続して地域の環境保全に努めてまいります。



地元自治会様見学会

平成12年8月に竹矢地区自治協会様をはじめとする8団体様と「環境に関する協定」を締結させていただき、それ以降行っている見学会も22回目を迎えることができました。これも地元自治会様はじめ、松江保健所様ほか関係各位の皆様のお力添えのお陰と感謝致しております。7月27日に行った見学会では、これまでの当社の取組みや新施設導入について

説明後、工場内の見学をしていただきました。当社では「地域との共生を目指し、地域に喜ばれ、必要とされる会社作りをする」という経営理念を掲げており、今後も見学会やCSR報告書等を通して、徹底した情報公開、更なるリサイクルの推進、地域の環境活動へ積極的に参加してまいります。



社会とのかかわり

Society



次世代スマートモビリティ

岩手県釜石で開催された「釜石スマートコミュニティフェア2014」で使用されるスマートモビリティに、期間限定で当社の広告をラッピングし、参加させていただきました。釜石でのイベントは11月に開催され、その後車両が横浜のみなとみらいで1ヶ月間使用されました。環境やコストに配慮しながら、円滑で快適な移動を実現するスマートモビリティについても注目しています。



全国の産業廃棄物協会様による工場見学

平成26年10月22日に一般社団法人徳島県産業廃棄物協会様、11月12日に一般社団法人山口県産業廃棄物協会様、11月14日に一般社団法人高知県産業廃棄物協会様が当社の工場見学のためお越しに

なりました。お忙しい中、また、遠方にもかかわらずお越しいただき誠にありがとうございました。いろいろとご質問、ご意見をいただき弊社にとって良い機会となりました。

不法投棄パトロール及び不法投棄物撤去作業への参加

島根県では、毎年6月と10月に、各保健所の主催により県下一斉合同パトロールを実施しています。このパトロールは、島根県が平成7年度から取り組



んでいる「廃棄物適正処理対策推進事業」の一環として、また、環境省が平成19年度から主唱している「全国ごみ不法投棄監視ウィーク（5/30～6/5）」の協賛事業として行われています。パトロール対象地域は、島根県があらかじめ指定した「重点監視地域」など不法投棄の発生が懸念される場所であり、当社も松江地区のパトロール作業と、その際に確認された不法投棄物の撤去作業に参加しました。毎年このようなパトロールや撤去活動が行われているにも関わらず、不法投棄が後を絶たないのが現状です。今後より一層適正処理の推進に力を入れて参ります。

こころカンパニー企業として

島根県では「仕事と家庭の調和」と「男女共同参画」の推進により、子育て中の従業員を積極的に支援する企業を「しまね子育て応援企業（こころカンパニー）」に認定しています。当社では、出産や育児中の社員に対して休暇制度や短時間勤務制度を設けており、実際に多くの社員がこの制度を利用し、職場に復帰しています。これらの取り組みが評価され、こころカンパニーとして認定をいただいています。当社では、協賛企業として、島根県から配布されている「こころカード」をお持ちの方に、不用品回収事業「片付け堂」をご利用いただくと、ご依頼金

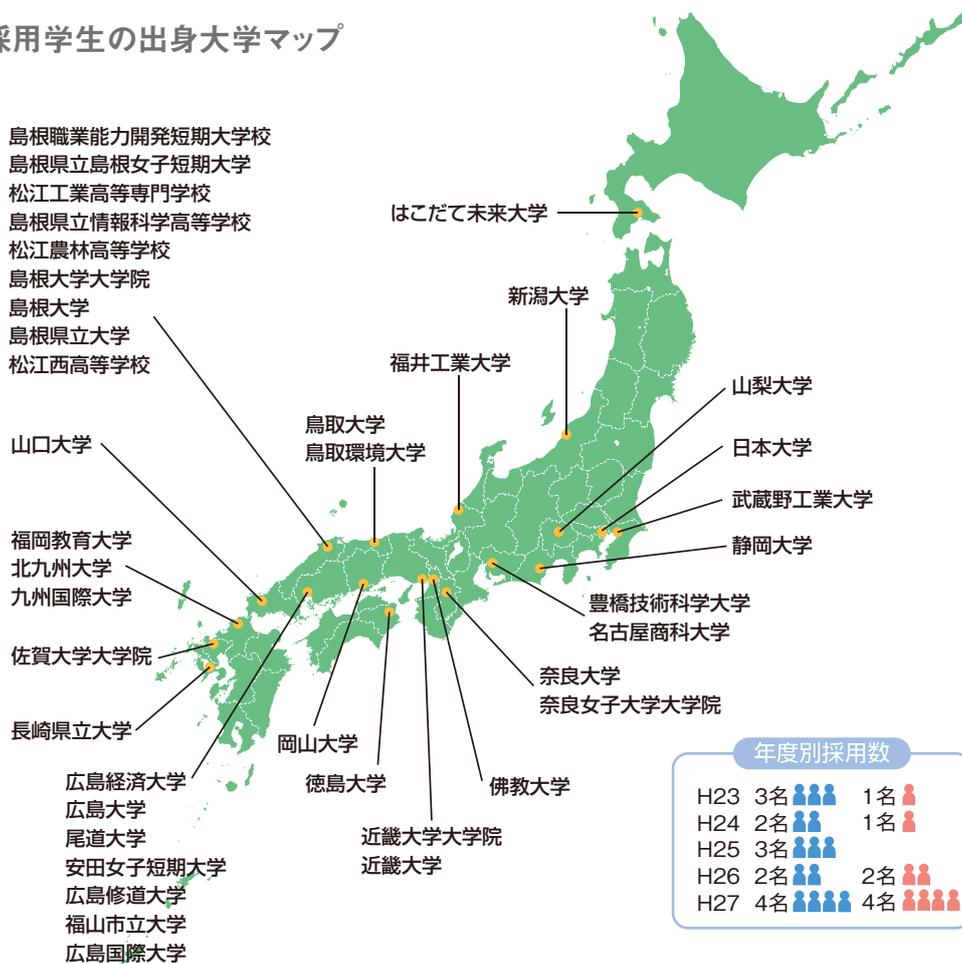
額に応じて通常の2倍のTポイントを付与させていただいています。こころパスポートをお持ちのお客様はぜひ当サービスをご利用下さい。



採用

当社では毎年安定的な雇用確保のために新卒者を採用しています。平成27年4月入社の子が8名と多くの学生を採用しました。

● 新卒採用学生の出身大学マップ



ハイライト

環境とのかかわり

地域とのかかわり

社会とのかかわり

お客様とのかかわり

社員とのかかわり

アースファームだより

お客様とのかかわり

Customers



第3回廃棄物管理セミナー

平成26年9月24日(火)にアースサポート主催『廃棄物管理セミナー』を開催しました。当日は多数の方にご参加いただき、ありがとうございました。第1部では行政書士エース環境法務事務所代表の尾上雅典氏より「廃棄物管理のポイント」についてご講義いただき、第2部では当社営業部の湊より「微量PCB廃棄物の適正処理と省エネ照明について」、そして第3部では当社営業部の山本より「不用品回収とTポイント」について説明させていただきました。第4回のセミナーも予定しておりますので、多数のご参加をお待ちしております。



片付け堂アンケート

ごみのコンビニ「片付け堂」として、ご家庭にある粗大ごみ等の不用品回収、家屋の解体、清掃、遺品整理などのお手伝いをさせていただいております。片付け堂のCMも地元の各テレビ局で放送していただいております、お陰さまでこの分野でもたくさんのご依頼をいただいております。当社では、より良いサービスの提供を行えるように日々改善活動に取り組んでおり、ご協力いただけるお客さまからアンケートを書いていただいております。各項目に「非常に満足(非常に良い)」とチェックを

いただいたり、更にはとてもありがたいコメントをいただいたりすることもあり、社員一同喜んでおります。これらの言葉を励みに、これからも廃棄物処理のプロとして安心してお任せいただけるよう努力してまいります。

ご利用は祖父母、またご前の代から続いた30年以上片付け部屋、倉、桐屋等々片付けました。荷物の多いのでゴミカぶり汚い物もありました。嫌な顔でなく丁寧な片付けをしてくれました。依頼する側は口でいってはいけませんが、と不安に思っていました。平然とした態度はいつも信頼です。ありがとうございました。

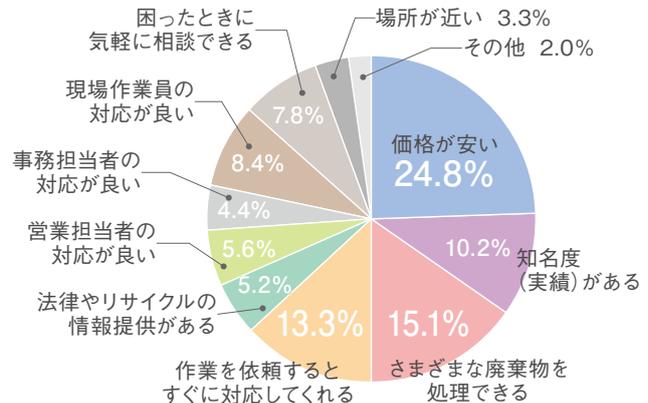
初めて利用しましたが、スタッフの皆さんは丁寧にしてもらえ、見取りからゴミ回収まで迅速に行われました。子供と片付けの手間を省いて「さすがプロだね」と感じました。家の中も片付けすべし気持ちに任せました。お世辞に感謝いたします。

お客様アンケート

お客様満足度向上にむけ、年1回顧客アンケートを行っています。ご回答いただきましたお客様にはこの場を借りて厚く御礼申し上げます。主なアンケートの結果は次のとおりです。

アンケート送付数：1,714枚 → 返信率：21%

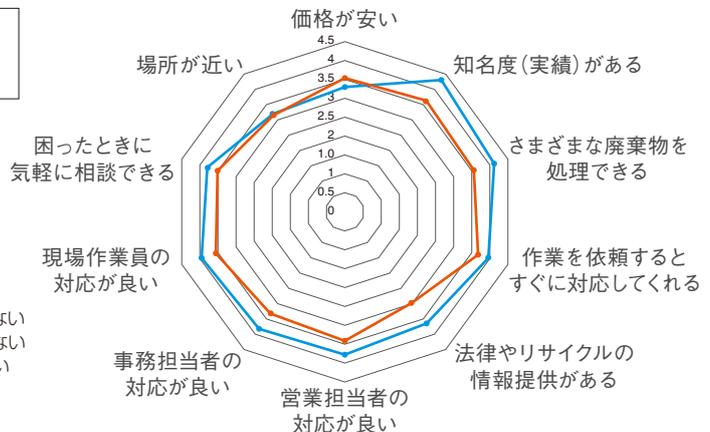
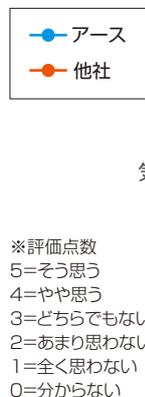
① 廃棄物処理業者の選定にあたって重視する項目について、全体を100%とした場合、どの項目がどれくらい重視しているかご記入いただきました。昨年に引き続き、「価格が安い」が一番重視されています。今回のアンケートでは、『担当者対応が良い』について「営業」「事務」「作業員」の3つに分けて質問をしたところ、**営業担当者よりも作業員の対応を重視**する傾向が見られました。



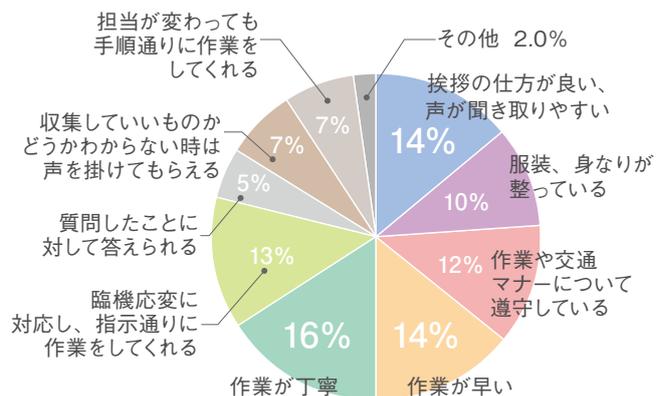
重視する項目ベスト5

1. 価格が安い (24.8%)
2. さまざまな廃棄物を処理できる (15.1%)
3. 作業を依頼するとすぐに対応してくれる (13.3%)
4. 知名度(実績)がある (10.2%)
5. 現場作業員の対応がよい (8.4%)

② 廃棄物処理を他社にも委託しているお客様に、当社と他社を比較評価していただきました。価格以外のサービス面では当社の方の満足度が高いという結果で、特に『情報提供』と『知名度』について差が大きいポイントでした。



③ 収集ドライバーの対応について、重要視する項目をお聞きしました。重視する項目については、『作業が丁寧』『作業速い』といった作業性だけでなく、『挨拶の仕方が良い』といったマナーの点についても高いポイントを占めていました。今後も引き続き挨拶研修を行っていく等、作業員のレベルアップを継続的に行っています。



第4回処理状況確認見学会の開催

平成26年7月29日（火）、30日（水）、31日（木）の3日間、弊社のお客様を対象に「処理状況確認見学会」を開催させていただき、61名の方にご参加いただきました。この見学会は、平成23年4月の廃棄物処理法の改正を受け、排出事業者の皆様の処理委託状況確認の機会として平成23年より毎年開



催させていただいております。廃棄物処理の委託先である弊社をお客様に見ていただき、処理の流れ等をご理解いただく機会としておりますが、弊社としてもお客様から直接ご意見をいただく貴重な機会となっております。



持込イベント

廃棄物をお持込いただくお客様とコミュニケーションを取るきっかけになれば、また当社にお越しいただいたわずかな時間だけでもリラックスしていただけたらとの思いから、様々なイベントを受付メンバーで企画しています。

七夕の日には受付メンバー全員が浴衣で対応させていただき、10月末にはハロウィンにちなんで帽子やカチューシャなどをつけお菓子をプレゼントしました。また、クリスマスイベントとして、期間中にサンタ帽子とトナカイのカチューシャをつけ対応を行い、12月24、25日には先着順にスサノオマジック卓上カレンダーをプレゼントする企画や、昨年に引き続き、お持込にいらっしゃったお客様へバレンタインのチョコをお渡りするバレンタインフェアも行いまし

た。嬉しそうにプレゼントを受け取ってくださったり、声をかけていただいたり、これらの企画を通じ、普段以上にお客様とコミュニケーションを取ることができたと思います。

その他、お持込の受付が混雑する年末の時期に、カウンター増設とお客様待機場所拡大を行うなど、お持込いただくお客様へよりよい接客ができるよう改善を行っています。



社員とのつながり

Employee



第3回廃棄物管理セミナー

当社では社員のコンプライアンス意識向上と知識を深めるため定期的な法律研修を行っています。今回は初めて外部講師を招き、CSR推進室による法律勉強会と併せ、事務系職員を対象に『法律検定』を行いました。外部講師には、行政書士エース環境法務事務所の尾上雅典氏を招き、廃棄物処理業者の立場から捉えた廃棄物処理法について詳しく講義いただきました。具体的に実務でどのようなことが罰則対象になるかなど、社員からの質疑応答もかなり充実したものになりました。CSR推進室からは、各営業マンから個別に相談があった事例を元

に法律解釈と当社の対応を説明し、最後にテストを行いました。今後も定期的な『法律検定』を行い社員のレベルアップを目指して行きます。



アースサポート社員手帳

社員へ配布するアースサポートオリジナル手帳を作成しました。手帳には、当社の方針や方向性、売上計画や戦略等が書かれており、当社の方針や方向性を常に意識できるようになっています。経営幹部メンバーが1年かけて推敲し、今後も継続的に作成

していきます。営業部が常時携帯するので、廃棄物収集運搬車両台数や廃棄物許可番号・許可品目などの情報も掲載しています。毎日時間ごとのスケジュールも書けるようになっており、1冊の手帳で全て管理できるようになっています。



ハイライト

環境とのかわり

地域とのかわり

社会とのかわり

お客様とのかわり

社員とのつながり

アースファームだより

レクリエーション

社員が夢を持てる会社プロジェクトチームが企画、運営を行い、各種イベントを実施しています。

今年の社員旅行は行き先が沖縄だったということもあり、例年の倍の人数の参加がありました。天候にも恵まれ、リフレッシュできたとともに、社員同士の絆も深まる楽しい旅行となりました。また、社員だけでなく、社員のご家族にも参加していただくイベントとして、スサノオマジックホーム開幕戦の観戦ツアーを行い、親睦を深めました。

営業部の団結力を高めようと、営業部男性職員11名全員で一畑薬師マラソンに出場しました。目標の「全員完走」を達成することができ、メンバー同士、力走をたたえあいました。



家族見学会（ファミリーデー）

社員のご家族を会社に招いて、普段どんな職場で働いているのか、アースサポートがどんなことをしているのかを知っていただきたいと思い、毎年1回家族見学会を開催しています。今年で12回目となる見学会を平成26年7月20日（日）に開催し、11家族37名に参加いただきました。会社概要についての説明の後、スタンプラリーをしながら場内見学を行い

ました。今年は小さなお子さんの参加も多く、特に重機や各種収集車両への乗車や記念撮影が人気でした。普段なかなか目にするのでできない仕事中的姿や風景に触れていただき、また毎年恒例となっている社員からご家族に向けたメッセージビデオの上映もあり、帰宅後、社員とご家族の会話も弾んだのではないかと思います。



収集ドライバーの安全講習を実施

廃棄物の収集運搬業務を担当している収集ドライバーは30名います。早朝5時30分から夕方まで、山陰地方を中心に毎日運転をしていますので、安全運転に注力しています。そこで、当社では年1回、安全運転に関する講習会を実施しています。

- 1 松江市内での事故について
- 2 事故を回避するために必要なこと
- 3 飲酒運転について
- 4 高速道路のトンネル時の事故について

昨年松江市では2月に合計7件の死亡事故が立て続けに起こったそうです。

事故を起こさないために、「だろろ運転」をやめ「かもしれない運転」を心がけることが大事であるとお

今年は2月13日（金）松江警察署交通第一課交通総務係長 脇田様を講師に迎え、次の事項について講義を受けました。



話をいただきました。

また、ドアミラーの死角など映像と一緒にお話され、収集班も真剣に脇田様のお話に耳を傾けとても実りのある講習になりました。

女性社員を生かす

知識と経験を兼ね備えた優秀な女性社員が結婚・出産ということだけで退職をせざるを得ないようにならないようしっかりとフォローできるような組織作りは、社会的にも、そして当社が今後より成長するためにも非常に重要なことだと感じています。そこで、労働基準法に定められる以上の福利厚生を考え、看護休暇日数を追加したり、短時間勤務制度

を延長しています。しかし、そうした結婚・出産を経て戻って来てくれる女性社員の職場環境を改善するために、それ以外の社員が一生懸命頑張ってくれていますので、よりよい職場環境にしていくため、相互に助け合うことができる会社作りをしていかなければならないと強く感じています。

- 育児休業制度（子どもが1歳に達するまで）
- 育児短期勤務制度（子どもが小学校4年生に達するまで）
- 看護休暇制度（子ども1人目は1年間に7日、2人目以降は1年間に10日）

社員総会

当社では全社員が集まる事業報告会を年2回開催しています。社長から今後の方向性や会社のビジョンを説明し、その後、各部署とプロジェクトチームごとに目標の達成状況を発表します。12月に行われる発表会では、表彰も行われるため、社員一同楽しみにしています。前年度に会社への貢献度が高く先進的な取り組みを行った事業に対し、年間MVP賞を授与します。MVPは、事前に社員が自ら経営幹



部にプレゼンテーションを行い、その結果がこの発表会で行われます。そのほか、「任せて安心で賞」「未来のリーダーで賞」など、個人賞も発表されます。勤務時間や勤務場所が異なる社員同士が顔を合わせ、他部署の発表内容を聞くことでコミュニケーションも円滑に図ることができ、全社一丸となって業務に取り組んでいます。



社員研修

「お客様の困った」を迅速に解決できるよう、社員教育に注力しています。新入社員に対しては、約1ヶ月に渡って各部署からの講義を受けたり現場研修を行い、最終的には先輩社員によるロールプレイングによって実際に工場を案内してもらったり、産業廃棄物管理票（マニフェスト）の説明をしてもらいます。

また、社員のコンプライアンス意識向上と知識を深めるため定期的な法律研修を行っています。今回は初めて外部講師を招き、CSR推進室による法律勉強会と併せ、事務系職員を対象に『法律検定』を



行いました。外部講師には、行政書士エース環境法務事務所の尾上雅典先生を招き、廃棄物処理業者の立場から捉えた廃棄物処理法について詳しく講義いただきました。具体的の実務でどのようなことが罰則対象になるかなど、社員からの質疑応答もかなり充実したものになりました。CSR推進室からは、各営業部から個別に相談があった事例を元に法律解釈と当社の対応を説明し、最後にテストを行いました。今後も定期的な『法律検定』を行い社員のレベルアップを目指して行きます。



表彰制度

あらゆる報奨制度によって、社員のモチベーションアップに努めています。

社長賞・常務賞・
努力賞

会社事業への貢献度が高い取り組みがあった職員への報奨

売上目標達成賞

営業部が個人で掲げている売上目標を達成した場合、毎月行われる報奨

お褒めの言葉賞

お客様からお褒めいただいた職員への報奨

A重油ランキング賞

焼却炉の運転において、消費するA重油の量が少なかった上位3名の職員への報奨

収集班対抗表彰

安全運転ランキングや身だしなみ、法律テスト結果などを点数化し、班対抗で1位のチームのメンバーを報奨

年間MVP賞

1年間でアースサポートに新たな価値を生み出した取り組みを行った上位3位の職員またはチームへの報奨

電話対応コンクール

年3回程度、事務系職員が録音した電話対応をエントリーし、社内審査後、上位3名を表彰

各種個人賞

年1回、「任せて安心で賞」「未来のリーダーで賞」といった社内投票による個人を表彰



資格者一覧

廃棄物関係	人数
化学物質管理者	1
ごみ処理施設技術管理士	2
特別管理産業廃棄物処分業の許可に関する講習修了者会修了者	1
産業廃棄物中間処理施設技術管理者	1
産業廃棄物焼却施設技術管理者	4
特別管理産業廃棄物管理責任者	4
産業廃棄物収集運搬業の許可に関する講習修了者会修了者	25
石綿取扱い作業従事者特別教育修了者	4
特定化学物質等作業主任者	2
環境管理士	1
酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者	7
酸欠危険作業特別教育修了者	2
毒劇物取扱責任者	1
粉じん作業特別教育修了者	2
環境計量士(濃度関係)	1
甲種防火管理者	1
廃棄物焼却施設におけるダイオキシン類対策に係る作業指揮者養成研修修了者	1
一般廃棄物収集運搬・処分業者講習修了者	1
一廃焼却施設技術管理者講習修了者	1
破砕・リサイクル施設技術管理士	1

平成27年6月末現在

清掃関係	人数
第一種衛生管理者	2
下水道排水設備工事責任技術者	1
ビルクリーニング技能士	1
建築物環境衛生管理技術者	1
建築物統括管理者	1
防除作業監督者	1
清掃作業監督者	1
貯水槽清掃作業監督者	1
空気環境測定実施者	1
一級建築士	1
一級建築施工管理技士	1
清掃作業従事者研修指導者	1
貯水槽清掃作業従事者研修修了者	2

平成27年6月末現在

その他	人数
警備員指導教育修了者責任者(1,2号)	1
交通誘導警備1級	1
雑踏警備業務1級	1
危険物取扱者	8
足場組立て等作業主任者技能講習修了者	1
アーク溶接等業務特別教育修了者	17
ガス溶接技能講習修了者	9
運行管理者	1
研削といしの取替え又試運転の業務特別教育修了者	7
高所作業車特別教育修了者(10m未満)修了者	5
高所作業車運転技能講習修了者(10m以上)修了者	4
大型特殊自動車免許所有者	2
牽引免許所有者	1
玉掛業務特別教育修了者	14
玉掛業務技能講習修了者	9
大型自動車免許所有者	22
床上操作式クレーン運転業務特別教育修了者	18
床上操作式クレーン運転業務技能講習修了者	1
小型移動式クレーン運転業務特別教育修了者	6
小型移動式クレーン運転業務技能講習修了者	9
ローラー運転業務特別教育修了者	1
小型車両系建設機械<整地等>の運転特別教育修了者	6
車両系建設機械(整地・運搬・積み込み用及び掘削用)運転技能講習修了者	24
車両系建設機械(解体用)運転技能講習修了者	5
車両系建設機械(解体用)運転技能特別講習修了者	18
普通救命講習修了者	31
フォークリフト運転技能講習修了者	29
土止支保作業主任者	1
地山の発削作業主任者	1
二級ボイラー技士	1
自由研削といしの取換え等業務特別教育修了者	1
石綿使用建築物等解体特別教育修了者	2
駐車監視員	2
2級土木施工管理技士	3
解体工事施工技士資格者	1
ISO14001内部環境監査員	15
整備管理者選任前研修修了者	1
安全衛生教育修了者(建設工事に従事する労働者)	1
労働安全衛生法による特別教育修了者	1
職長・安全衛生責任者教育修了者	1
PCB廃棄物収集運搬業作業従事者講習修了者	1
安全運転管理者講習修了者	2
第2種電気工事士免状取得者	1
第3種電気主任技師	1
定期点検技術者講習修了者	1
KYTトレーナー	2
はい作業主任者	1
安全管理者選任時研修修了者	1
労働安全衛生法による技能講習修了者(特化四鉛)	1

平成27年6月末現在



『NPO 法人あすのひかり』との業務連携

アースファームでは、NPO 法人あすのひかりと連携し、利用者の方に農作業や出荷補助業務などを行っていただいています。農作業の経験を通じて知識・能力の向上を図り、利用者の方の就労支援をお手伝いしています。



販売実績

栽培した野菜は、近隣の旅館や飲食店の納品の他、スーパーでの店舗販売も行っています。

- HOK乃木店様
- 松江合同青果様



HOK山代店様



HOKキャスパル様

アースファームの野菜



ブロッコリー



トマト



ししとう



じゃがいも



さといも



おくら



にんにく

「アースサポート株式会社 CSR報告書2015」 をお読みいただきありがとうございました。

このCSR報告書は、当社の環境活動をはじめ、社会活動、社員への活動を含めたサステナビリティレポートに近い形にしております。わたしたちの活動内容を皆様にわかりやすくお伝えできるよう作成しましたが、不十分な点があると思いますので、ぜひ皆様のご意見・ご感想をお聞かせくださいますようお願いいたします。

裏面のアンケートにご回答の上、FAXにてお送りいただくか、右下のアンケートはがきの回答をご記入の上、そのまま投函くださいますようお願いいたします。



アンケートにお答えいただいた方の中から
抽選で、(有)アースファームの農場で収穫した
「季節のお野菜」をプレゼントいたします。



切手を貼らずに投函ください。

差出有効期間
平成28年9月
19日まで

料 金 受 取 人 払 郵 便	松 江 中 央 局 承 認	1414
--------------------------------------	---------------------------------	------



アースサポート株式会社 行

島根県松江市八幡町八二番地1

646

6	9	0	8	7	9	0
---	---	---	---	---	---	---

郵便はがき

Q1 アースサポート株式会社 CSR報告書2015をご覧になって
どのように感じられましたか？

①当社の環境・社会活動自体について

1. 非常に評価できる 2. 評価できる 3. ぶつう
4. あまり評価できない 5. 評価できない

②わかりやすさについて

1. 非常にわかりやすい 2. わかりやすい 3. ぶつう
4. ややわかりにくい 5. わかりにくい

③内容について

1. 非常に充実している 2. 充実している 3. ぶつう
4. ややもの足りない 5. もの足りない

Q2 本報告書の中で、特に興味を持たれたものはどの項目ですか？（複数可）

1. アースサポートのあゆみ 2. トップメッセージ 3. ハイライト 4. 環境とのかかわり
5. 地域とのかかわり 6. 社会とのかかわり 7. お客様とのかかわり 8. 社員とのつながり
9. アースファームだより

Q3 本報告書をどのような立場でご覧になりましたか？

1. 一般 2. お取引先 3. NPO・NGO 4. 学生 5. 行政関係 6. 社員・ご家族
7. 研究・教育機関 8. 当社近隣の方 9. 報道関係 10. その他

Q4 本報告書をどのようなカタチでお知りになりましたか？

1. 当社からの郵送 2. 当社ホームページ 3. アースサポートNEWS
4. メールマガジン 5. 当社従業員より 6. その他（ ）

Q5 今後のアースサポートの活動に望まれること、期待されること

Q6 本報告書に関するご意見等ございましたらご記入をお願いいたします

CSR報告書2015アンケート

Q1 ① ② ③

Q2 _____

Q3

Q4

Q5 _____

Q6 _____

お名前 _____

住 所 〒 _____

電 話 _____

E-mail _____

◀ 切り取って郵送いただくか、
このままFAXしてください。
※記入していただいた個人情報は、
本アンケート以外の目的で
使用いたしません。

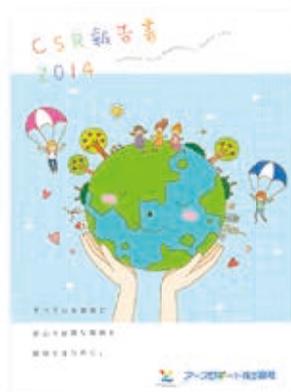
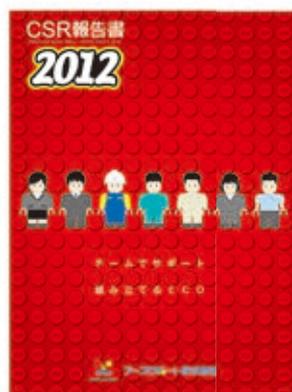
● 編集後記 ●

『CSR報告書2015』は、対象期間を平成26年4月1日から平成27年3月31日までとし、アースサポート株式会社の全事業について掲載しています。関係各位の皆様方にご助力いただきましたことを改めて御礼申し上げます。

私たちは、環境に対する取組みだけでなく、地域や社会、お客様、社員に対するさまざまな取組みを実施するとともに、その情報公開に努めてまいりました。地域の皆様をはじめ、一般の方にも読みやすいよう写真を多く使用し、わかりやすく読みやすい報告書の製作を心がけています。そのため、内容に不十分なところも多々ございますので、ぜひ皆様のご意見をご参考にし、今後のより良いCSR報告書づくりに取り組んで参りたいと考えております。

編集・製作 CSR推進室

過去の環境報告書・CSR報告書





アースサポート株式会社は
島根スサノオマジックを応援しています。



アースサポート 株式会社

アースサポート株式会社

本 社 / 〒690-0025 島根県松江市八幡町882番地2
TEL 0852-37-2890 FAX 0852-37-2892
E-mail: earth@earth-support.jp

東京本部 / 〒107-0052 東京都港区赤坂4丁目4-14
未来環境創造ビル3F
TEL 03-6441-2900 FAX 03-6441-2920

<http://www.earth-support.jp>



ISO 14001
JQA-EM1465
本社: エアール赤坂
廃棄物リサイクル